

2011年度 環境行動計画表

(制定:平成23年4月1日)

結城運輸倉庫株式会社

項目(大項目)	前年度の評価・課題	今年度の実施計画(目標)	方策	責任者	達成時期	取組評価
環境保全のための仕組み・体制の整備	<ul style="list-style-type: none"> ・グリーン経営認証取得して5年目を迎えた。本社主導のもの、営業所で日々管理を行うものと、役割を分担して行ってきた。環境への意識は以前より浸透してきているが、その取組む姿勢においては、バラツキがあるのが現状。それを高いレベルで平準化することが今年度のテーマとなる。 ・年次計画に則って、5月、9月、1月に環境教育を実施。「エコドライブのための点検整備」「4Rの実践」「環境法規制(廃棄物処理法改正)について勉強会を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・前年度と同様に、年3回の環境教育を実施する。 ・点検整備責任者の役割をより徹底させ、エンジンオイル交換などの点検整備サイクルのさらなる徹底をはかる。 ・環境への取組に対する姿勢・意識のバラツキを平準化させるため、環境保全管理責任者＝営業所長に対して啓蒙を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・環境教育は、全社統一の資料を作成して安全会議時実施。環境保全管理責任者主導で行う。 ・環境保全推進責任者の営業所定期巡回時に点検整備記録の確認を行い、基準通りの点検がされているかを確認する。 ・本社での管理職全体会議(年二回)において、環境への意識付けを行う。 	環境保全推進責任者(経営企画部長) 環境保全管理責任者(所長)	環境教育:5月、9月、1月 環境保全推進責任者の営業所巡回:随時 管理職全体会議:6月、12月	
エコドライブの実施	<ul style="list-style-type: none"> ・エコドライブ報奨金制度の報奨金減額を図った前年度は、その評価点も下がり、エコドライブに対する意識が低下した。グリーン経営認証を取得してから、燃費は14%以上の向上を達成したが、前年度の燃費は全社平均で3.62km/L、目標の3.68km/Lには届かず。 	<ul style="list-style-type: none"> ・エコドライブナビゲーションシステムは装着して5年が経過、機器自体の故障も増えてきている。またAT車には対応していないため、AT車が増えてきている状況下で、このシステムにすべて頼る時期は過ぎたと考える。エコドライブ教育、点検整備の徹底など、ソフト面での充実を図っていく。また対外機関のエコドライブ講習等があれば積極的に運転者を派遣させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・年3回の環境教育のうち、1回はエコドライブに関する教育を実施する。 ・ソフト面を充実させ、今年度の全社平均燃費3.62km/Lの1%向上(3.66km/L)を達成する。 	環境保全管理責任者(所長) エコドライブ責任者	3月までに	
低公害車の導入	<ul style="list-style-type: none"> ・代替は計画通りに進んだが、営業所間での移動や中古車購入等での対応であり、「低燃費かつ低排出ガス認定車」の導入は進んでいない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度は4台のポスト新長期規制車の導入を計画している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・9月までに藤枝営業所2台、五井営業所2台を導入する。 	車両担当者(安全管理責任者、安全管理部長部長)	9月までに	
自動車の点検・整備	<ul style="list-style-type: none"> ・前年度はエンジンオイルの清掃・交換、エアエレメントの清掃・交換に関しての点検・整備基準を改善した。基準内での実施が進んだが、完璧とは言えない。今年度は管理フォーマットを一新し、管理強化を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各営業所全車両、走行距離基準以内での清掃・交換を達成させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・テプラ等で車両内に次期交換走行距離を表示して意識付けを行う他、点検整備管理者による新フォーマットでの管理を徹底する。また環境保全推進責任者の定期巡回時に確認し管理を強化する。 	環境保全推進責任者(経営企画部長) 環境保全管理責任者(所長) 点検整備管理者	毎月 (内部監査は9、10月)	
廃棄物の適正処理及びリサイクルの推進	<ul style="list-style-type: none"> ・年1回、4Rについての勉強会を実施。直接業務には関わりない部分もあるが、環境意識の浸透を図った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・前年度と同様に、年1回の4R勉強会を安全会議時に実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・エコモ財団や、関係団体の資料を加工して、従業員に分かりやすい形で実施する。 	環境保全管理責任者(所長)	1月	
管理部門(事務所)における環境保全の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・事務所内での環境保全の取組について、従業員へ周知させているが、コピー用紙等の紙使用量の削減に関して、意識低下がみられた。エネルギー使用量やゴミ排出量は把握していない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・前年度のエネルギー使用量やゴミ排出量を把握する。 ・ゴミ排出量の前年10%減。 	<ul style="list-style-type: none"> ・コピー用紙は裏紙を積極的に活用(個人情報に注意して)し、排出削減に努める。 ・ゴミの排出量実績を把握する。 	環境保全管理責任者(所長)	3月までに	

※達成時期において取組の検証を行い、その結果を○、△、×で取組評価に記載する
 (○:実行している、△:ある程度実行している、×:あまり実行できていない)
 ※この計画表は、本社経営企画部(環境保全推進体制事務局)にて作成し、本社統一のものとする。